

福岡遠征 報告

12月4日（土）・5日（日） グローバルアリーナ

試合結果

U16

鹿児島	0-38	福岡
鹿児島	5-25	長崎
鹿児島	19-10	沖縄
鹿児島	0-19	東京
鹿児島	28-0	愛媛

U17

鹿児島	0-40	大分
鹿児島	0-21	福岡
鹿児島	7-15	沖縄
鹿児島	7-21	長崎
鹿児島	22-0	熊本

総括 (U16)

29名の選手が参加。経験者の多い鹿実は花園出場のため不参加だったが何とかメンバー構成を行い実施した。FW12名 BK17名という中、フロントローが多かったためバックローにSHが入り2ハーフで対応できた。沖縄は勢いを感じるチームであったが、鹿児島が終始ペースを握り攻め込むことができた。後半に集中力の途切れで連続2トライを奪われたがメンタル面も充実していた。東京戦は、だんだんチームらしくなってきた選手たちがディフェンスを中心に体を張った。アタック面でも、ブレイクダウンの個々人の判断が、落とし込みの成果もありコントロールされ、突破はできなかったがある程度継続プレーができたことは収穫だった。最後は勝利を焦った東京の必死の攻撃にディフェンスが決壊した。それでも、鹿児島にとっては良い感触を得ることができた。今回のこの遠征で横のつながりができたような気がする。特に、核になるプレーヤーも数名生まれてきたような気がする。今後が楽しみである。次回は、12月19日、ラグビーフェスタで行われるラグビークリニックが大きなスキルアップにつながることを期待したい。

総括 (U17)

この世代は、コロナの影響でこれまで一度も練習会すら実施したことがない学年で、遠征の二週間前に一度練習会を実施しただけということもあり、1本目の大分戦ではチームとして機能しない部分が多く、個々においてもDFで大きな課題がみられた。今回の遠征ではコカ・コーラの山下氏にスポットコーチとして帯同してもらっており、2本目の福岡戦までに、DFにおけるマインドセットをはじめ、タックルにおける具体的なドリルやスクラムのセットなど細かいコーチングを受けることができ、試合を追うごとに改善がみられた。また、30名の選手で約2チームの編成ができたこともあり、あまりメンバーを固めず、様々なポジションを試した。最終戦となった熊本戦は山下氏のコーチングも活かされ選手たちの意識も高まり結果につなげることができた。今回、このような形で遠征を行えたことは、今後の県代表としての活動に大きな収穫となった。1月の新人戦を経て、再度招集し、2月の練習会、3月の宮崎・熊本県代表との定期戦につなげていきたい。



写真は
U16